

研修施設一覧

地区	番号	研修施設	募集人数			集合時間・場所、 研修時間など	研修施設の特徴など (施設紹介)	研修予定内容	研修生			施設内 での昼食	受入条件・留意事項など
			8/16 (水)	8/17 (木)	8/18 (金)				白衣	上履き	その他		
東部	1	鳥取赤十字病院 〒680-0017 鳥取市尚徳町117 電話：0857-24-8111 FAX：0857-24-5794 E-mail: e-ko0803@tottori-rc.com HPあり	2名			集合時間 9:20 集合場所 薬剤部 1階投薬窓口 研修時間 9:30～16:30	当院は久松山の麓に位置し、鳥取駅から比較的近い急性期総合病院です。地域医療連携拠点病院に指定されており、地域の保険医療機関と密に連携を取っております。 災害救護活動では、DMAT隊員あるいは救護班の一員として積極的に活動しております。 そして、それぞれが専門知識を習得して、チーム医療に参画し患者様へ高い満足度を提供できるよう教育の充実を心がけています。	・下記の業務について、それぞれの担当者から講義及び一部の業務について体験を行う。 災害救護 (DMAT)、AST、無菌製剤、院内特殊製剤、調剤室、麻薬調剤、外来癌患者指導、注射室、薬品保管管理、医薬品情報、地域連携、薬剤部全体	要	要 (靴で、サンダル等不可)	名札	可 (持参可)	対象は4年生、5年生です。 研修時間は、公共交通機関を利用される学生の方の都合に合わせてできますので、お申し出ください。
東部	2	鳥取市立病院 〒680-8501 鳥取市市場1丁目1番地 電話：0857-37-1522 FAX：0857-37-1553 E-mail: Ken_dr@hospital.tottori.tottori.jp HPあり		1名		集合時間 12:55 集合場所 薬剤部 研修時間 13:00～16:30	鳥取県東部圏域の公立病院として、二次医療を中心に頻度の高い三次医療まで担当し、地域住民の命と健康を守っています。薬剤部は、基本方針「安全で効果的な薬物療法を提供する」、「チーム医療への参画を積極的に行う」そして「病院経営に貢献できる取り組みを目指す」のもと、薬剤師にできることはなにかを日々追及しています。特に病棟での薬剤師業務には力を入れており、入院患者さんへの服薬指導や薬学的問題点の解決、他の医療スタッフへの薬剤情報の提供や相談応需、医療安全への貢献など多くの業務に取り組んでいます。	下記業務の見学・体験を予定しています。 ・病棟での薬剤師業務 (薬剤管理指導/病棟薬剤業務実施加算に係る業務など) ・外来がん化学療法室での薬剤師業務 ・就職等に関する意見交換 など	要	要	サージカルマスク	-	対象は6年生です。 事前体調管理表、実習に関する届出の提出が必要となります (当院様式あります。担当者へご連絡ください。)
東部	3	鳥取県立中央病院 〒680-0901 鳥取市江津730番地 電話：0857-26-2271(代) FAX：0857-29-3227 E-mail: komatsu-t@pref.tottori.lg.jp HPあり	3名			集合時間 10:00 集合場所 2階薬剤部 研修時間 10:00～16:30	高度・急性期医療を行う県東部の基幹病院です。救命救急や地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院等の指定を受け、「優れた人材を育成し、質の高い安全・安心の医療を住民の皆様へ提供すること」を目標としています。 薬剤師は、安心・安全な薬物治療を提供できるようスキルアップを図り、専門性を高めチーム医療に貢献しています。	・下記の業務について、それぞれの担当者から講義及び一部の業務について体験を行う。 薬剤部業務概要、調剤、院内製剤、無菌調剤業務、病棟業務、外来化学療法、注射室業務、チーム医療、若手薬剤師との懇話会	要	要	-	可 (持参可)	対象は3年生以上です。 コロナの感染状況により、病院が定める感染防止対策をお願いする場合があります。また、研修内容が変更 (内容、研修時間) となる場合があります。 参加学生の希望に合わせて、時間の短縮や重点的に聞きたい内容など出来るだけ対応させていただきます。(参加学生さんから直接お問い合わせいただくことも可能です。)
東部	4	社会医療法人明和会医療福祉センター渡辺病院 〒680-0011 鳥取市東町3丁目307番地 電話：0857-24-1151 FAX：0857-24-1024 E-mail: h-somu@mmwc.or.jp HPあり	1名	1名	1名	集合時間 9:00 集合場所 病院総合受付 研修時間 9:00～16:00	当院は、鳥取市の中央部、鳥取城跡に隣接する緑豊かな住宅地にあります。心のケア・高齢者の心身のケアを主体として、思春期 (アスペルガー症候群等) から高齢者認知症等まで幅広く専門医療を提供しています。 病床数308床、1日平均外来数約180人にて、精神科の多様な症例ならびに専門チーム医療を経験していただくことができます。	・施設の概要説明 ・薬剤師の業務の見学と体験	要	要	-	可 (持参可)	対象は4年生以上です。
東部	5	国民健康保険 智頭病院 〒689-1402 八頭郡智頭町大字智頭1 8 7 5 番地 電話：0858-75-3211 FAX：0858-75-3636 E-mail: y-asano@town.chizu.tottori.jp HPあり		1名	1名	集合時間 9:20 集合場所 1階総合受付 研修時間 9:30～16:00	自然に恵まれた豊かな環境で、慢性期の診療を中心とした病院です。一般病棟、療養病棟、介護老人保健施設を有し、訪問服薬指導等の在宅まで、包括的サービスを提供します。 病院だけでなく、町の福祉課、社会福祉協議会及び特別養護老人ホーム、学校給食センターがひとつの建物の中にあり、保健・医療・福祉総合センターとして三位一体となった複合施設です。	・施設概要説明、案内 ・調剤、薬剤管理見学 ・病棟服薬指導見学 ・訪問服薬指導同行	要	不要	名札 筆記用具	当院で用意します。	対象は4年生以上です。 ・清潔感のある身だしなみでおいください。 ・抗原定量検査陰性確認後、実習参加
東部	6	徳吉薬局 とうぶ 〒680-0902 鳥取市秋里7 2 3 - 4 電話：0857-21-3360 FAX：0857-21-3380 E-mail: toku-t@hal.ne.jp HPあり	2名	2名	2名	集合時間 9:20 集合場所 徳吉薬局とうぶ 研修時間 9:30～15:00	鳥取県立中央病院の近隣に位置する薬局で、月におよそ3500件の患者さんが来局されます。薬剤師12名、事務員10名で運営しています。現在地域連携薬局に登録されています。 県立中央病院の多くの診療科の処方箋を受け付けるほか、約90医療機関の処方箋が持ち込まれます。在宅医療、抗がん剤治療の薬業連携など、他職種や医療機関との連携を積極的に行っています。	・調剤・ピッキング・処方監査の体験、服薬指導の見学、調剤機器の操作体験 ・在宅医療に関する体験、研修 ・薬局を取り巻く外部環境、内部環境の説明 ・将来の薬剤師の仕事に関して、自身の考えを踏まえ薬剤師とディスカッション	要	要	-	可 (持参可)	学年は問いません。 私服で構いませんがジーンズ、派手な色のシャツ、金髪もしくは派手な色の髪色、派手な髪形、派手なネイル、派手な化粧、カラコンタクトの方は受け入れができませんのでご注意ください。
東部	7	徳吉薬局 日赤前 〒680-0017 鳥取市尚徳町1 1 4 - 6 電話：0857-51-1822 FAX：0857-51-0380 E-Mail: tokuyoshi.nissekimae.55@gmail.com HPあり	2名	2名		集合時間 9:20 集合場所 徳吉薬局日赤前 研修時間 9:30～15:00	鳥取赤十字病院の近隣に位置する薬局で、月におよそ2500件の患者さんが来局されます。薬剤師9名、事務員10名、管理栄養士2名で運営しています。現在地域連携薬局に登録されています。 鳥取赤十字病院の多くの診療科の処方箋を受け付けるほか、約70医療機関の処方箋が持ち込まれます。在宅医療、抗がん剤治療の薬業連携など、他職種や医療機関との連携を積極的に行っています。また、鳥取県栄養士会認定の「認定栄養ケアステーション」を設置し、管理栄養士による外来患者の食事指導や在宅での食事指導を行っています。	・調剤・ピッキング・処方監査の体験、服薬指導の見学、調剤機器の操作体験 ・在宅医療に関する体験、研修 ・薬局を取り巻く外部環境、内部環境の説明 ・将来の薬剤師の仕事に関して、自身の考えを踏まえ薬剤師とディスカッション	要	要	-	可 (持参可)	学年は問いません。 私服で構いませんがジーンズ、派手な色のシャツ、金髪もしくは派手な色の髪色、派手な髪形、派手なネイル、派手な化粧、カラコンタクトの方は受け入れができませんのでご注意ください。
東部	8	徳吉薬局 こやま 〒680-0942 鳥取市湖山町東2丁目1 4 0 - 2 電話：0857-30-6208 FAX：0857-30-6209 E-mail: koyama@tokuyoshi-pharmacy.jp HPあり	2名			集合時間 9:20 集合場所 徳吉薬局こやま 研修時間 9:30～15:00	湖山地区のスーパーなどの商業施設の近隣に位置する薬局で、月におよそ900件の患者さんが来局されます。薬剤師4名、事務員4名、で運営しています。2022年11月にオープンした、比較の開局して新しい薬局です。 様々な病院からの処方箋を受け付けていて (約60医療機関、処方箋集中度48%) 面の薬局として地域の皆様へ貢献しています。 在宅医療と通じて、他職種や医療機関との連携を積極的に行っています。	・調剤・ピッキング・処方監査の体験、服薬指導の見学、調剤機器の操作体験 ・在宅医療に関する体験、研修 ・薬局を取り巻く外部環境、内部環境の説明 ・将来の薬剤師の仕事に関して、自身の考えを踏まえ薬剤師とディスカッション	要	要	-	可 (持参可)	学年は問いません。 私服で構いませんがジーンズ、派手な色のシャツ、金髪もしくは派手な色の髪色、派手な髪形、派手なネイル、派手な化粧、カラコンタクトの方は受け入れができませんのでご注意ください。
東部	9	株式会社保健企画 ひまわり薬局本店 〒680-0833 鳥取市末広温泉町574 電話：0857-21-9691 FAX：0857-21-9690 E-mail: ph08113@std.huhs.ac.jp HPあり	2名	2名	2名	集合時間 9:20 集合場所 ひまわり薬局本店 研修時間 9:30～16:30	1994年の開設以来、『いつでも、だれでも、よい医療を』を理念に、調剤薬局としての専門知識を追求し、地域に根ざしたかかりつけ薬局として安全・安心の医療を提供することを主眼において活動している薬局です。 医療機関からの外来処方せん調剤をはじめ、居宅にて治療を受けられている患者さんのもとを訪問し薬の管理を行う訪問薬剤管理指導にも力を入れています。薬局内にはグリーンベンチを設置しており、鳥取では珍しい点滴や医療用麻薬の調製 (清潔な環境下での混ざり作業) なども対応しています。	●外来調剤 (大人・小児科など) 模擬体験 ●OTC販売体験 ○調剤の混注調剤業務見学 ○在宅患者の訪問薬剤管理指導同行 注：○については、インターンシップ実施時期の業務内容により変更もしくは実施出来ない可能性もあります。	不要	不要	-	可 (持参可)	対象は3年生以上です。 マスク着用あり (支給可)
東部	10	県の衛生行政機関 (県庁・東部エリア) 鳥取県福祉保健部健康医療局医療・保険課 〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220 電話：0857-26-8666 FAX：0857-26-8168 E-mail: iryou-hoken@pref.tottori.lg.jp HPあり	3名	3名	3名	集合時間 9:30 集合場所 鳥取県庁本庁舎 2階医療・保険課 研修時間 9:30～16:30	環境・衛生・薬事等に関する法令・条例などに基づき事業者への規制指導・審査、県民への啓発活動等を行っています。 環境全般、水・大気環境、廃棄物、食品衛生、薬事、献血推進、感染症対策などの分野があります。	県庁を中心に業務の説明、関連事業所の視察などを通じて、行政薬剤師の仕事をご紹介します。	不要	不要	-	可 (持参可)	学年は問いません。
東部追加	21	独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター 〒680-0203 鳥取県鳥取市三津876 電話：0857-59-1111 FAX:0857-59-1589 E-mail: yoshida.akimasa.rz@mail.hosp.go.jp HPあり		2名	2名	集合時間 13:00 集合場所 薬剤部 研修時間 13:00～16:00	独立行政法人国立病院機構鳥取医療センターは、中四国ブロックの「精神疾患」に関する中心的施設として、高度で専門的な医療の機能を備えるとともに、中国地方ではじめてのパーキンソン病センターを設立するなど、神経・筋疾患、呼吸器疾患、重症心身障害に関する専門的な医療等の機能を備えた病院になります。	下記業務について、それぞれの担当者より講義及び一部の業務について見学・体験を行う。 国立病院機構について、病院概要、チーム医療について (パーキンソン病センター、精神科病棟等)、薬剤部内での調剤体験、薬剤師との意見交換	要	要	名札	-	対象は4年生以上です。

地区	番号	研修施設	募集人数			集合時間・場所、 研修時間など	研修施設の特徴など (施設紹介)	研修予定内容	研修生			施設内 での昼食	受入条件・留意事項など
			8/16 (水)	8/17 (木)	8/18 (金)				白衣	上履き	その他		
中部	11	公益社団法人鳥取県中部医師会立 三朝温泉病院 〒682-0197 東伯郡三朝町山田690 電話：0858-43-1321 FAX：0858-43-2732 E-mail: midori_jda@hosp.misasa.tottori.jp HPあり	1名	1名	1名	集合時間 9:20 集合場所 薬剤科 研修時間 9:30～16:30	三朝温泉病院薬剤科では、主に病棟活動に力を入れて薬剤管理指導業務などを行っています。病棟活動を通して、医師や看護師、他のコメディカルスタッフとの連携を取り、チーム医療の一員となり薬の専門家としての役割を果たすように努めています。また、今後は薬剤師が求められる薬剤の知識を深めるだけでなく、患者様とのコミュニケーション能力の向上や、認定薬剤師や専門薬剤師を目指すような環境作りに入れていきたいと考えています。	午前 薬剤科施設内 調剤業務体験・混注業務体験 午後 一般病棟案内 病棟薬剤業務体験・薬剤管理指導業務体験 薬剤科内勉強会参加 ※参加学生の体験したい内容も追加可能です	要	不要	筆記用具	可 (持参可)	学年は問いません。
中部	12	鳥取県立厚生病院 〒682-0804 倉吉市東昭和町150 電話：0858-22-8181 FAX：0858-22-8196 E-mail: kawanishik@pref.tottori.lg.jp HPあり			2名	集合時間 9:15 集合場所 当院薬剤部受付窓口 研修時間 9:30～16:00	鳥取県中部地域に位置する中核病院で、薬剤師16名で様々な業務を行っています。調剤業務、注射抽出業務、抗がん剤調製、抗菌剤投与設計、薬剤管理指導、病棟業務などを行っています。 また、がん化学療法、緩和薬物療法、感染管理、糖尿病、NSTなどチーム医療にもかかわっています。興味があれば当日お聞きください。 将来、病院薬剤師を検討されている方はぜひ業務体験してみてください。	・薬剤部内の業務説明及び見学 ・調剤業務体験（内服薬や注射薬など） ・注射薬調剤業務見学など（ミキシング業務など） ・その他関連業務体験	要	要	-	可 (持参可)	対象は4年生、5年生です。
中部	13	医療法人十字会 野島病院 〒682-0863 倉吉市瀬崎町2714-1 電話：0858-22-6231(代) FAX：0858-22-6843 E-mail: kyujin@nojima-hospital.or.jp HPあり	3名	3名	3名	集合時間 9:20 集合場所 2階総合案内前 研修時間 9:30～16:30	野島病院は、脳血管障害、悪性新生物、循環器疾患をはじめとするあらゆる救急医療に対応し、地域の皆さまに信頼される病院を目指しています。 また、「老人保健施設のじま」や在宅部門との連携を図り、急性期医療から在宅医療までの一貫した包括的医療システムの充実を努めています。	・服薬指導などの仕事見学 ・調剤、薬剤セットなどの仕事体験 ※参加者の希望、学年に応じた研修を行います。	要	要	-	可 (持参可)	学年は問いません。 ・院内ではマスク着用をお願いします。 ・状況により、抗原検査またはPCR検査をお願いする場合がございます。 ・体調不良の際は、来院前にご連絡ください。 ・希望の見学・体験内容に応じて、研修時間を変更することがあります。その場合、応募者と調整し、研修時間を決定します。
中部	14	大陽堂薬局本店 〒682-0021 倉吉市上井27-1 電話：0858-26-5418 FAX：0858-26-2618 E-mail: honten@taiyoudou.com HPあり	1名	1名	1名	集合時間 9:00 集合場所 当薬局 研修時間 9:00～16:30	当薬局は、倉吉駅から徒歩10分の場所に位置する調剤薬局で、全国の医療機関からの処方箋対応に加え、在宅訪問を通じた地域の医療機関との連携にも力を入れています。一包丁化薬の割合が多く、大型の錠剤分包機や散剤監査システム等調剤設備も充実しております。	調剤薬局業務全般(レセコン操作、調剤業務、監査、投薬業務等)	不要	要	-	可 (持参可)	学年は問いません。
中部	15	県の衛生行政機関（保健所・中部エリア） 鳥取県中部総合事務所倉吉保健所 〒682-0802 鳥取県倉吉市東蔵町2 電話：0858-23-3144 FAX：0858-23-3266 E-mail: kurayoshihoken@pref.tottori.lg.jp HPあり	3名	3名	3名	集合時間 9:30 集合場所 中部総合事務所 2号館1F案内前 研修時間 9:30～16:30	環境・衛生・薬事等に関する法令・条例などに基づき事業者への規制指導・審査、県民への啓発活動等を行っています。 環境全般、水・大気環境、廃棄物、食品衛生、薬事、献血推進、感染症対策などの分野があります。	業務の説明、実務の体験、現場業務への同行などを通じて、行政薬剤師の仕事をご紹介します。	不要	不要	-	可 (持参可)	学年は問いません。 研修施設は、中部総合事務所倉吉保健所となります。
中部	16	県の衛生行政機関（試験検査・調査研究機関） 鳥取県生活環境部衛生環境研究所 〒682-0704 東伯郡湯梨浜町南谷526-1 電話：0858-35-5411 FAX：0858-35-5413 E-mail: eiseikenkyu@pref.tottori.lg.jp HPあり	3名	3名	3名	研修時間 9:30～16:30 ※集合場所・集合時間は別途調整	県民の安全確保と豊かな環境確保のための調査研究拠点です。 ○ 環境・衛生分野で、法律等に基づく行政監視・指導に必要な検査の実施 ○ 危機管理対応として、県民の安全確保に資する調査研究の実施（ウイルスの検出法の確立、食品・環境汚染物質分析法の開発など） ○ 環境の保全・再生と活用に関する研究・調査の実施（湖沼の水質浄化、廃棄物のリサイクル、PM2.5による健康影響に関する調査研究など）	・施設の概要及び各分野の調査・研究の説明 ・各検査・実験室等での業務の見学と体験	不要	要		可 (持参可)	学年は問いません。
西部	17	鳥取大学医学部附属病院 〒683-8504 鳥取県米子市西町3 6-1 電話：0859-38-6932 FAX：0859-38-6930 E-mail: fujiyoshi@tottori-u.ac.jp HPあり	3名	3名	3名	集合時間 9:20 集合場所 薬剤部 研修時間 9:30～16:30	調剤機器の導入および業務効率化により、積極的に病棟業務を展開しています。 また、術前や抗がん剤治療を受ける外来患者への面談により、安全性の向上に努めるとともに、薬業連携の推進を目指しています。	・病院薬剤師の仕事紹介 ・鳥取大学医学部附属病院薬剤部の特色 ・病棟薬剤師業務 ・外来患者に対する薬学的管理 ・調剤、TDM、DI業務の体験	要	要	-	可 (持参可)	対象は1年生～4年生です。 敷地内ではマスク着用が必要です。
西部	18	ウェルネス薬局境港店 〒684-0062 境港市蓮池町92-1 電話：0859-21-2766 FAX：0859-21-2767 E-mail: Wph0027@wellness.tsuruha-hd.co.jp HPあり	2名	2名	2名	集合時間 10:00 集合場所 当薬局 研修時間 1～3年生 10:00～13:00 4～6年生 10:00～16:00	ドラッグストア併設の薬局です。広域病院からの処方箋が多く、幅広い疾患の患者さんに対応している薬局です。 また、多くのOTC医薬品や医療材料等を取り扱っており、地域の皆さまの健康をサポートしています。在宅医療にも積極的に参加しているのが特徴です。	1年生～3年生 ・セルフメディケーションとは ドラッグストアに陳列されている薬剤、医療材料から、地域の方へ薬剤師ができるセルフメディケーションのサポートを学ぶ 4年生～6年生 上記に加えて、薬学の知識に基づいたドラッグストアにあるアイテムの適切な情報提供を体験しよう！（血圧計、血糖測定器、とろみ剤、服薬補助アイテムなど）	要	要		可 (持参可)	学年は問いません。
西部	19	県の衛生行政機関（保健所・西部エリア） 鳥取県西部総合事務所米子保健所 〒683-0054 鳥取県米子市東福原一丁目1-4 5 電話：0859-31-9316 FAX:0859-34-1392 E-mail: yonagohoken@pref.tottori.lg.jp HPあり	3名	3名	3名	集合時間 9:30 集合場所 西部総合事務所 本館1F 地域県民室 研修時間 9:30～16:30	環境・衛生・薬事等に関する法令・条例などに基づき事業者への規制指導・審査、県民への啓発活動等を行っています。 環境全般、水・大気環境、廃棄物、食品衛生、薬事、献血推進、感染症対策などの分野があります。	業務の説明、実務の体験、現場業務への同行などを通じて、行政薬剤師の仕事をご紹介します。	不要	不要	-	可 (持参可)	学年は問いません。 研修施設は、西部総合事務所米子保健所となります。
西部追加	20	独立行政法人国立病院機構米子医療センター 〒683-0006 鳥取県米子市車尾4丁目1 7-1 電話：0859-33-7111 FAX:0859-34-1580 E-mail: kuramoto.seiichiro.cs@mail.hosp.go.jp HPあり		2名	2名	集合時間 13:00 集合場所 薬剤部 研修時間 13:00～16:30	米子医療センターは、鳥取県西部の医療圏をカバーする総合病院です。薬剤部の業務としては、主に入院患者さんの調剤をはじめ、病棟での服薬指導、持参薬の鑑別、薬剤師外来（がん、周術期、糖尿等）、抗がん剤・高カロリー輸液の無菌調製など岐にわたる業務を行なっています。またチーム医療も、積極的に行われており、それぞれの分野（がん、感染制御、NST、糖尿、緩和ケア等）で薬剤師が活躍しています。病院の規模的には中規模病院となりますが、それゆえに他職種との連携もよく、業務にあたっては、病院施設は2014年に建て替えられ、明るくきれいな施設です。これらの恵まれた環境下において薬剤師の職能が十分に発揮できる施設です。	・下記の業務について、それぞれの担当者から講義及び一部の業務について体験を行う。 国立病院機構について、病院概要、院内見学（病棟、外来、化学療法センター、放射線科、透析室など）、チーム医療について、薬剤部内での調剤体験、各チームの紹介（8/17のみ）、NST回診同行（8/18のみ）、薬剤師との意見交換、質疑応答	要	要	名札	-	対象は4年生以上です。